

Cocot

No.29

- 第3次たかさご男女共同参画プランについて
- * センター活動報告 *
 - ・ 第39回ひょうご女性未来会議inたかさごを開催しました！
 - ・ 管理職人権研修「DVについて」
 - * DV相談窓口案内 *
 - * センターのご案内 *
 - ・ 図書案内
 - ・ 移転のご案内
 - ・ 女性のための相談室
 - ・ 法律相談

第3次たかさご 男女共同参画プランを策定しました



高砂市では男女共同参画社会の実現を目標に、「第3次たかさご男女共同参画プラン」を令和3年3月に策定しました。

男女が互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる、多様性に富んだ豊かで活力のある社会を市民の皆様とともに目指します。

* 第3次プランはQRコードより市HPから見る事ができます。



計画がめざす男女共同参画社会とは

- 家庭では・・・一人ひとりが家事、育児、介護などの家族としての責任を分かち合いながら、家庭と仕事や地域活動との調和のとれた生活を送っています。
- 職場では・・・一人ひとりが個性や能力を十分に発揮しています。あらゆるハラスメントがなく、それぞれの人格を認め合って安心して働いています。
- 学校では・・・一人ひとりが個性や能力を伸ばす教育が行われ、性別にとらわれない適性に応じた主体的な進路選択がなされています。
- 地域では・・・性別分担意識に基づく慣習やしきたりが見直され、地域での子育てやまちづくりなどの活動に、男女が共にいきいきと参画しています。

第39回 ひょうご女性未来会議 in たかさご を開催しました。

日時：2021年5月22日（土）13：30～16：00
場所：高砂市文化保健センター中ホール
主催：ひょうご女性未来会議inたかさご実行委員会
後援：高砂市

ひょうご女性未来会議とは、様々な分野で活躍する兵庫の女性たちが一堂に会し、ネットワークを広げ、能力や力を高めあいながら新しいライフスタイルの実現を目指していく女性の集いです。定期的（年2回程度）に例会を開き、女性の異業種交流を図りながら、情報発信、ネットワークづくりなどを行っています。

高砂市での開催となった今回は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言中のため、残念ながら会場での通常開催は行わず、動画配信となりました。

オープニングコンサートでは、映画「スウィングガールズ」のモデルとなった、兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部のみなさんに素晴らしい演奏を披露して頂きました。

続いて「みんな集まり みんな繋がる 女性がキラキラ輝けるまち たかさご」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。女性が地域の中で自分らしく生きていくためには、困った時に「助けて」と言える関係性を築いていくことが重要であり、その関係をどうやって地域で作っていくかが今後の課題であるとの結論に至りました。またパネリストのみなさまの意見から、高砂市の強みや良さも再認識できました。最後に高砂市の様々な分野で活躍している女性たちによる、リレートークが行われ、活発な活動報告がありました。

女性が自分らしく生きることが出来る社会はすなわち、性別に関係なく誰もが自分らしく生きる事が出来るジェンダーフリーの社会です。

「Withコロナ」時代だからこそ、地域のみんなで手を取り合い多様性を認め合いながら「たかさご」から元気に人の輪を広げていきましょう！



動画配信中!

【視聴方法】

- * 動画投稿サイトYouTubeにて
「第39回ひょうご女性未来会議」で検索
- * QRコードより市HPから視聴



管理職人権研修 「DVについて」を行いました

日時：2021年7月16日（金）13：10～14：40

場所：南庁舎5階大会議室

講師：認定NPO法人

女性と子ども支援センター

ウィメンズネット・こうべ

理事 茂木 美知子氏

コロナ禍においてDV被害が深刻化しています。DVは重大な人権侵害であり、決して許されるものではありません。この度、課長級以上の市職員に対しDV被害者支援のための研修を行いました。講師によるDVについての説明の後、被害者と加害者の心理、こどもへの影響についてお話がありました。

特に面前DVは児童虐待であり、年間通報件数は年々増加傾向にあります。私たち行政には被害者が抱える問題の現実的、具体的な解決につながる支援を各部署が連携し迅速に対応していくことが求められます。被害者に対して支援する上で、言ってはいけない言葉や態度、また共に考えていく姿勢を学びました。



内閣府が公表した「女性に対する暴力の現状と課題」によると、令和2年度の配偶者暴力相談支援センターなどへのDV相談件数は19万30件と令和元年度の11万7420件から61.8%も増加しました。

新型コロナウイルスの感染拡大のため在宅勤務や、テレワークの推進などにより、生活環境の変化や経済面への影響がDV増加の要因になっている可能性があります。

パートナーとの関係で悩んでいることはありませんか？

内閣府のDV相談+（プラス）では、SNSやメールでの相談も受け付けています。



配偶者やパートナーから受けている様々な暴力（DV）について、専門の相談員と一緒に考えます。

DV相談+（プラス）

◇電話相談：24時間受付 フリーダイヤル

0120-279-889

◇SNS相談：正午から22時まで

◇メール相談：24時間受付

◇外国人相談：正午から22時まで

【対応言語】英、中、韓、タガログ、ポルトガル
タイ、スペイン、ベトナム
インドネシア、ネパール



soudanplus.jp

◇WEB面談：相談状況に応じて実施

その他のDV相談窓口

◆DV相談ナビ : #8008（はれれば）
*ご相談は各機関の相談受付時間内に限ります。
*一般のIP電話等からはつながりません。
*ご利用には通話料がかかります。

◆兵庫県警察本部ストーカー・DV相談 : 078-371-7830

◆高砂警察署生活安全課 : 079-442-0110

◆高砂市男女共同参画センター【女性のための相談室】（平日 9:30-12:00
: 079-443-9134 ・13:00-17:00）
*心理カウンセリング等ではありません

購入図書を紹介

*男女共同参画センターでは図書の貸出を行っています。貸出期間は2週間。お1人様2冊まで。ご利用お待ちしております。



もうあかんわ日記 著者：岸田奈美

父は他界、母は車椅子ユーザー、ダウン症の弟、認知症の祖母を抱えた著者に、次々に襲い掛かる「もうあかんわ」なラインナップ。「人生は、ひとりで抱え込めば悲劇だが、人に語って笑わせれば喜劇だ」をモットーに、理不尽な日々をだれかに笑ってもらうことで救いを得るために書かれた37日間の日記です。「もうあかんわ」と思っている全ての人たちにぜひ読んでもらいたい本です。



～言葉にならない思いを抱える君へ～ 明日、学校に行きたくない

著者：茂木健一郎 信田さよ子 山崎聡一郎

大人の皆さまも、学生の頃「明日学校に行きたくない。」と思ったことはありませんか？今、あなたの子どもが「学校に行きたくない。」と訴えたらあなたはどのように答えますか？この本は悩みごとの専門家の三人が子ども達と向き合い、子どもの「言葉に出来ない思い」に寄り添い書かれた本です。「明日学校に行きたくない。」と言われたら、自分で自分を追い詰めないでと伝え、そっとこの本を渡してあげてはどうでしょうか？

***男女共同参画センターは新本庁舎2階に移転しました。**
(令和4年9月いっぱいまで。令和4年10月からは南庁舎4Fに移転予定。)

女性のための相談室

☎079-443-9134



月曜日～金曜日 9:30～12:00 13:00～17:00

相談は無料・秘密は守ります (面接相談・法律相談は原則高砂市在住または在勤の方になります)

*心理カウンセリング等ではありません

電話相談 (随時)

思いや考えを言葉にしてください
どんな相談でも結構です



面接相談 (要予約)

カウンセラーと共に問題を整理しながら向き合しましょう



その後法的な視点からの
アドバイスを希望される方は



法律相談 (要予約)

女性弁護士が法的観点から相談に応じます
第4月曜日13時～16時 (1人30分)
*第4月曜日が休日の場合は第4水曜日



高砂市男女共同参画センター
高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号 高砂市役所本庁舎2階
電話*079-443-9133
FAX*079-442-2229
E-mail*cocot@city.takasago.lg.jp (令和4年1月発行)